

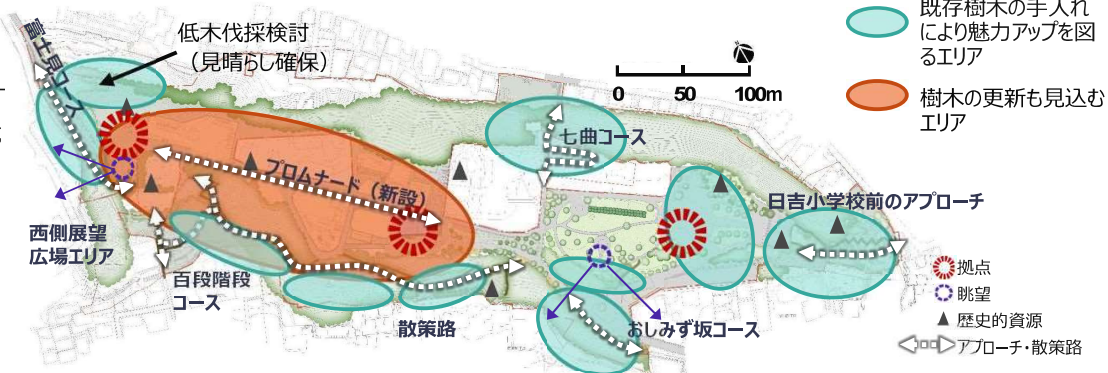
7-3 植栽の考え方

公園全体の考え方

- **既存の高木の緑陰を活かし**ながら、安全性を考慮した見通しの確保、景観の充実による魅力向上などのため、**高木の剪定**などを行います。
- ただし根上がりが著しく、利用にあたって危険や支障が伴う樹木や、再整備に向けて**施設などの支障となる樹木は、公園利用にあたって適切な位置に更新**します。
- 管理や整備による**発生材は、コンポストや工作の素材として再利用の検討**をします。

西側展望広場エリア

- 剪定により**眺望、富士山への見晴らし**を活かす
- 根上がりなどで利用に危険が伴う**樹木は更新**
- 新植する樹木は**季節の移り変わりを感じられる樹種**とし、印象深い空間づくりをする
- **低木は伐採**とする



日吉小学校前のアプローチ周辺

既存樹林の剪定・伐採、下草刈りなどを行う。市民と協働で**樹林管理が行える樹種**などを検討する。

広場、散策路など

適切な樹林の**明るさ確保や緑陰効果**の向上、**見通しの確保**などのため**剪定**をする。

おしみず坂などアプローチ

樹林の**剪定、間伐**などを行い、見通しをすっきりさせる（明るいイメージにする）。

プロムナード (新設)

高木の列植などで全体の骨格となる印象づけをする。

樹林地の考え方

- 倒木等により**来園者や住宅、広場、園路等へ被害が及ぶ恐れのある支障木**を、優先的に伐採する。
- 加瀬山特有の風景の維持や生物多様性の確保に向け、**立地条件や植生などの条件を整理し、樹木等の整理・更新**を行う。
- 樹林地を活用した**協働プログラム**等を検討し、**維持管理への関心や参加**を促す。

樹木を更新するエリアの考え方

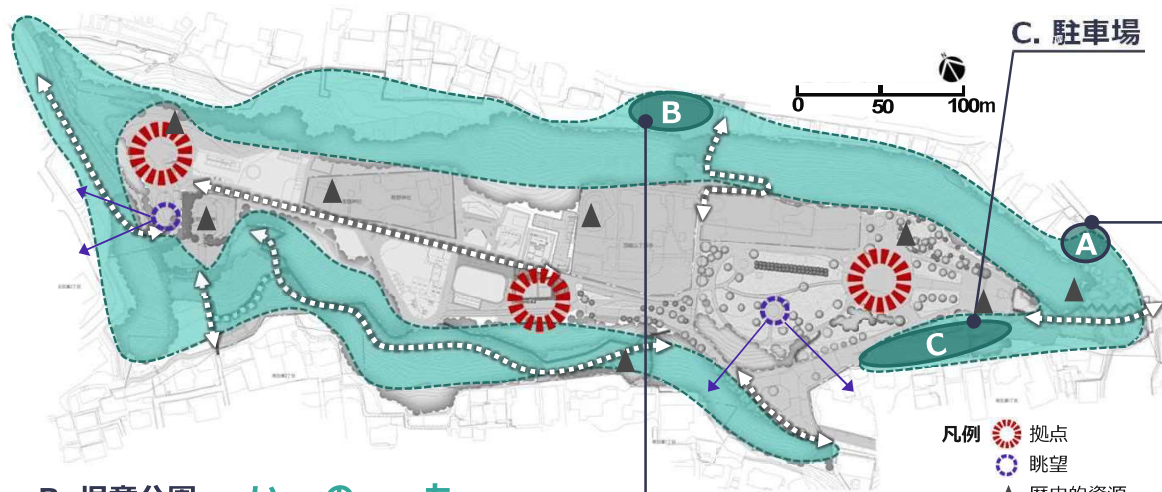


- 利用者への**安全性確保**（根上りや落枝、倒木の危険性や見通しの確保など）を考慮する
- 電気や給排水設備、トイレや動物舎などの**基幹設備の更新**に向けて、**支障となる樹木は更新**する

撤去する樹木：33本
更新する樹木：33本以上

※今後の詳細な検討により変更となる可能性があります。

8-1 緑と人が出会う



- ・現状面積を維持
- ・民間パートナーとの協働により、駐車場区画の見直しを実施
- ・近隣駐車場等との連携を図り、来園者の利便性を向上

A. 「いのち」を「みつけ」「まもり」「育てる」拠点

きく かぐ
みる ふれる

- ・日常利用として散歩・散策の際の休憩など、地域の憩いの場として静かな空間づくり
- ・周辺樹林地を市民協働により管理する際の集合場所として整備し、樹林管理のプログラムを考え、実施するための「拠点」とする
- ・里山の手入れを通じて、自然の芽吹きやいのちの循環を感じ、生きものとの出会いから気づきを得る場
- ・手入れへの参加により、近隣の方々との会話やふれあいが生まれ、地域のつながりを深めるきっかけの場
- ・10人程度が活動できる四阿・テーブル・ベンチに加え、手洗い施設や必要に応じて倉庫、資材置き場、落ち葉のコンポストなどを設置

B. 児童公園 いっものびのびちいきの公園

- ・川崎市福祉のまちづくり条例に適合した入口の改修
- ・周辺公園を加味し、特徴ある公園づくり
- ・敷地面積（約700㎡）を考慮した公園づくり（小学校低学年以下など、対象年齢を絞る）
- ・遊具やベンチなどの施設は、夢見でみられる生きものや出土品を連想できるデザインとし、動物公園全体や地域の歴史への理解や愛着の醸成へつなげる

ふれる みる



動物モチーフの施設
(豊中市原田公園)

動物モチーフの施設
(メーカーカタログより)



動物モチーフの遊具
(メーカーカタログより)

歴史モチーフの遊具
(熊本県立装飾古墳館HPより)

植物モチーフの遊具
(メーカーカタログより)



地形を活かした施設
(メーカーカタログより)

広場イメージ
(読谷村古堅第二公園/読谷村HPより)



発生材を利用した解説板
(東山動植物園)



協働による樹林管理活動の例
(多摩東寺方緑地保全地域/里山HGO！HPより)



落ち葉のコンポスト
(GOOD NEWS NEIGHBORS)



里山体験教室
(さいたま緑の森博物館/里山HGO！HPより)

8-2 人と人が出会う (D,E,F)

F. 展望広場

みる かぐ ふれる

- 市街地への眺望、富士山への見晴らしや**既存のサクラを活かしたのびのびとした広場空間**として整備
- 展望デッキ、日除けなど休憩施設を更新し、ベンチやテーブルを新設**
- 複合遊具は撤去、芝生エリアに新設し、**広場主体の空間づくり**
- 施設デザインは、動物園エリアの**動物を連想させるデザイン**とする
- 公園へのアプローチ動線と動物園エリアの骨格となるシンボル動線の「結節点」として印象的な、花見ができるなど**季節感のある樹木を主体とした空間**
- 「結節点」に**シンボル機能を持った施設を設置** (シンボル性の高いデザインのトイレや時計塔、ゲートなど)



動物のイラストをデザインした動物舎の壁面 (天王寺動物園)



ベンチ・テーブルの配置 (虎渓用水広場)

エリア入口の演出 (京都市動物園)

D. 「う回路」入口・パークセンター南側

かぐ ふれる

- 花木・草花や舗装パターンなどで演出し、**パークセンターとの一体感を演出**
- 公園利用者にとって**休憩や小規模なイベント利用もできる広場空間**
- 動物病院整備の際の「仮設病院機能」を活用し**管理活動の暑熱対策として休憩小屋などの設置を検討**

※小規模なイベント：
間伐材を利用した小物や動物用遊具製作などの工作イベントやアート展示イベントなど



エントランスの演出 (布引ハーブ園)



エントランスの演出 (京都市動物園)



体験イベントのイメージ

- 自動車利用者のメインエントランス**としてのゲート機能
- ゲートやシンボルツリーや草花で出迎えの空間を演出
- 旧売店エリアは、**情報発信エリア**として改修し、公園全体マップに加え、展示動物や加瀬山の歴史、「夢見ヶ崎」の名称の由来などを紹介する
- 飼育動物やイベントの最新情報を伝えるデジタルサイネージを設置を検討**



檻を再利用したパーゴラ (とべ動物園)



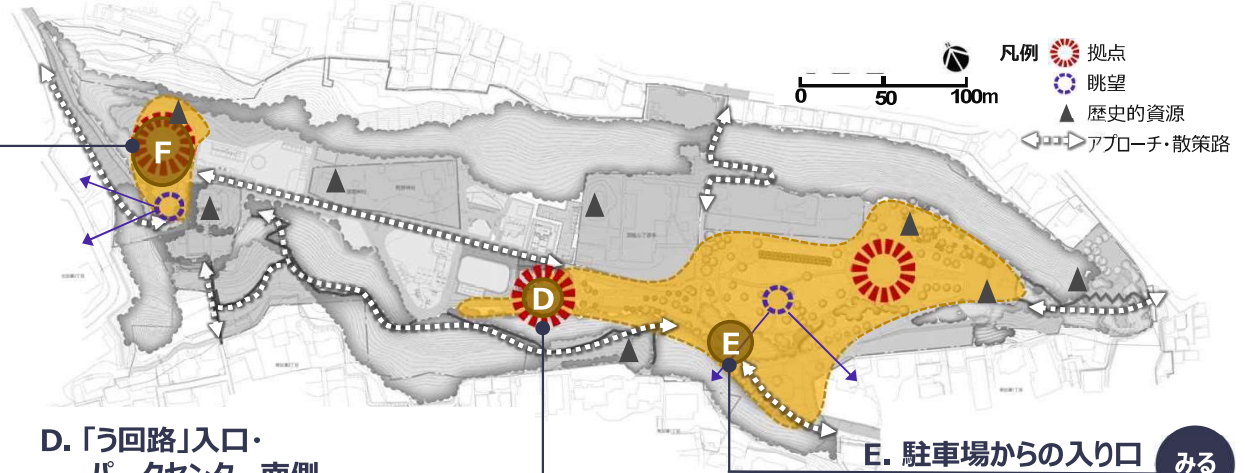
エントランスの演出 (上総更科公園)



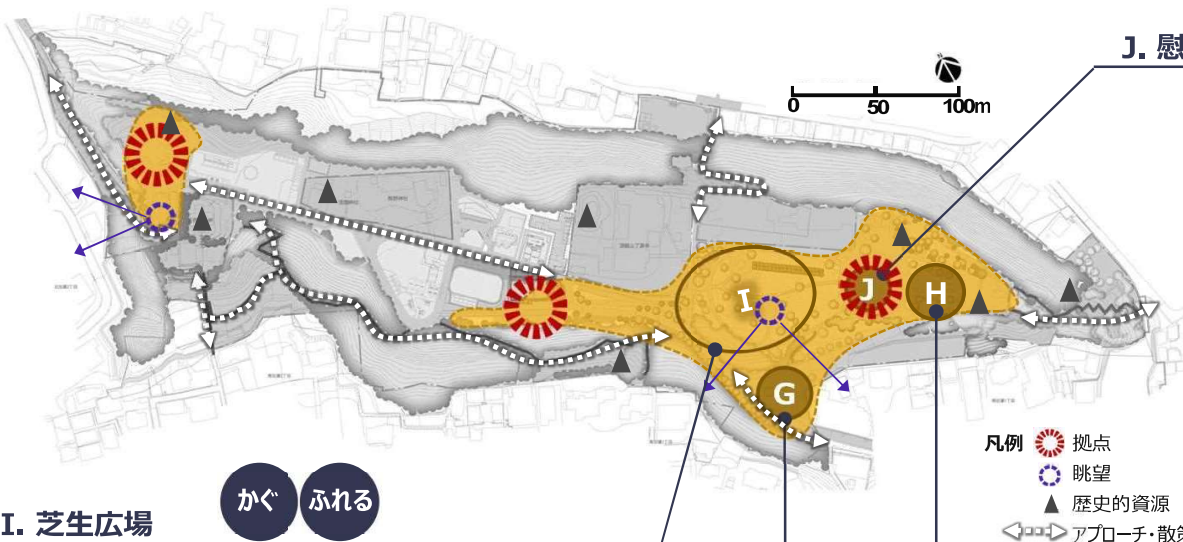
サインの例 (天王寺動物園)



情報発信施設の例 (東山動植物園)



8-2 人と人が出会う (G,H,I,J)



I. 芝生広場

かぐ ぶれる

- ラジオ体操、犬の散歩、ボール遊び、お花見、地域の行事など**柔軟な活用ができる広場**
- 展望台は撤去、緑（カイツカイブキ）のトンネルは維持
- 動物や加瀬山にちなんだ**テーマ性のある複合遊具**などを中心とした遊びの空間を整備
- **遊びの空間は、児童（6歳～12歳）と未就学児（6歳未満）ですみわけができる空間づくり**を行う
- 芝生広場の休憩施設は**テーマ性のあるデザインのベンチ・スツールなどを検討**（動物や昆虫の姿・形を模した形状など）



遊具のイメージ



遊具配置のイメージ

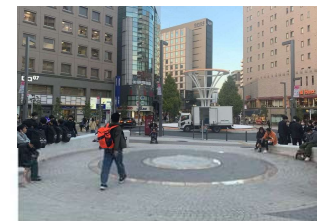
J. 慰霊塔前広場

みる 味わう

- 遮熱透水性インターロッキングブロック舗装などによる円形広場に改修し、**象徴的なデザイン**※となるような工夫を行う
- **舗装構成は、キッチンカーなど車両乗り入れが可能な舗装構成**
※例：古墳群から出土した銅鏡模様を舗装パターンとするなど
- 広場内は、**イベント等が可能なオープンスペースを確保**しつつ、**適宜樹木とベンチを配置し、休息できる設え**とし、広場全体が慰霊塔に向かう**静的空間となるような整備**
※広い舗装面となるため、樹木を舗装内にも配置し木陰を作る。



古墳群から出土した三角縁神獣鏡（川崎市）



広場のイメージ（大塚駅前広場）

- 凡例
- ☀ 拠点
 - 🌀 眺望
 - ▲ 歴史的資源
 - ⇄ アプローチ・散策路

H. 慰霊塔付近

ぶれる きく

- 戦没者慰霊のための広場空間として現状を維持
- 舗装などの老朽化に対応し、**舗装の更新**や樹木の剪定、**不要施設の撤去**などを行い、**慰霊のための空間としてふさわしい格調高い空間づくり**



格調高い舗装のイメージ

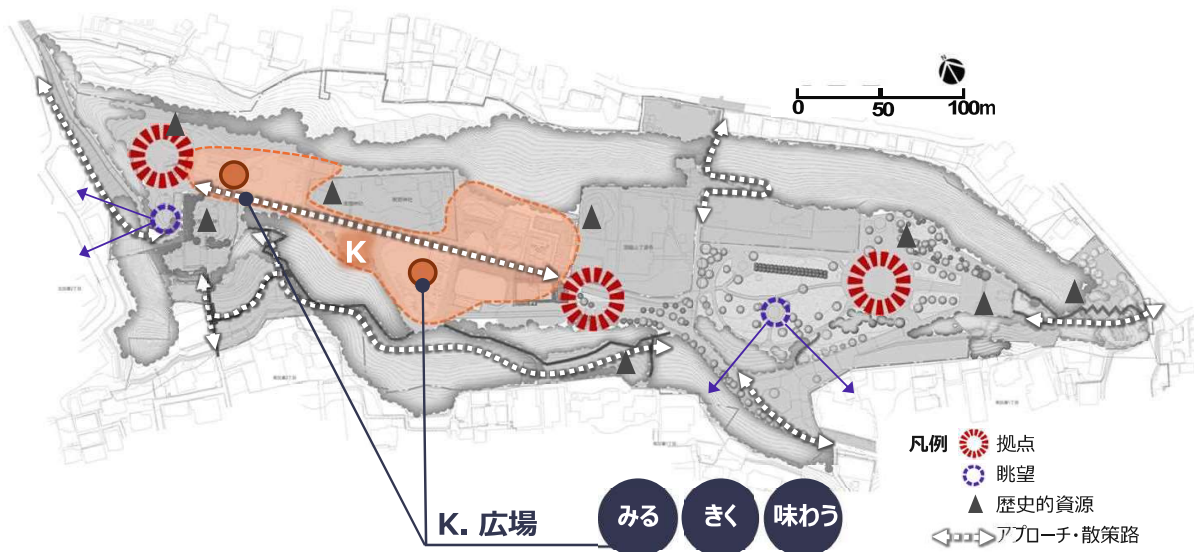


休憩スペース（神戸市東遊園地）

G. エントランスのロータリー

- 現状維持
- タクシーの転回や、駐車場が満車であった場合の**転回スペースを維持**
- 民間パートナーとの協議によりロータリー空間の見直し（**駐車場の満車・空車のわかる看板などの設置**も含む）

8-3 生きものと人が出会う



- 動物園エリア内に遠足などの利用時の説明、お弁当、休憩などのためのスペースを整備
- 子ども（小中高生）や若者（高校生や大学生など）の居場所として、動物たちを見ながらゆったりと時を過ごせる場所
- 屋根のある休憩施設を設置し、雨天時でも休憩でき、昼食などが食べられるようにする
- 動物の形状を模したベンチやスツールなどを設置、動物園エリアの各所の特徴を表した設え
- 手洗い場を設置し、利用者の衛生面にも配慮した空間づくり



動物のシルエットが浮かぶバーゴラ（メーカーカタログより）



動物モチーフのベンチ（ズーラシア）

動物展示・動物病院など

ふれる みる かぐ きく

- 老朽化やアニマルウェルフェアに対応するための動物舎整備
- 動物の本来の行動を引き出す環境エンリッチメントの充実、子どもの目線やバリアフリーに配慮した展示など観覧環境の充実
- 来園者と職員の安全確保を考慮した、園路など動線、施設の整備



手のひらサイズのリスの彫刻（東山動植物園）



動物病院イメージ（ドバイファルコンホスピタル）



観覧しやすい園路（天王寺動物園）



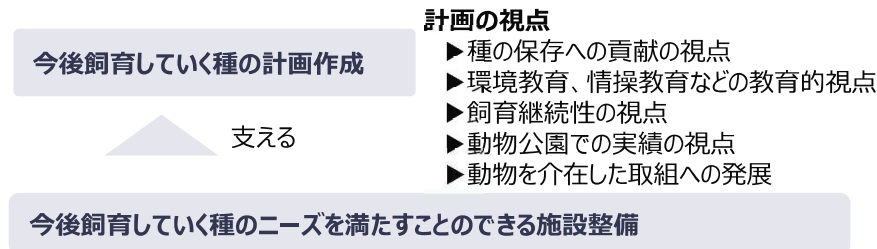
シカの獣害とライオンへの給餌に関する掲示物（のんほいパーク）

8-3 生きものと人が会う

飼育動物の考え方

動物を飼育・保護するという役割を担う動物公園が、次の100年も継続していくためには、一般的な公園とは異なる視点から施設・環境の整備を進めていく必要があります。具体的には、**飼育動物の種の保存や寿命などを考慮した繁殖・調整・導入の計画的な実施に加え、アニマルウェルフェア（栄養、環境、行動、健康、精神）および環境エンリッチメントの観点から、動物の生態や習性に配慮した施設整備が重要**です。

また、来園者が動物を「知り、関わり、好きになる」体験を通して、**子どもの健やかな成長や、来園者の心身のリフレッシュにつながる取組を充実させるための施設・環境整備**も合わせて進めていきます。



■ コレクションプランと施設整備の考え方の例

- 動物を好きになってもらう**プログラムが実施できる動物種・施設整備の検討**
- いのちを守る取組を伝え、市民の参加を促進する施設整備**（動物保護施設の充実など）



エサづくり体験
(市川市動植物園)



バックヤードツアーなどの
充実に向けた整備
(夢見)

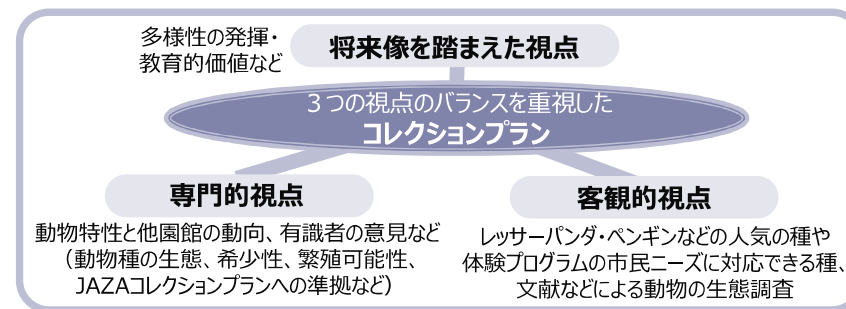


保護活動（夢見）ガラス張りの施設（海外事例）
保護鳥獣のリハビリや保護活動を
知ってもらう施設

コレクションプランの考え方

飼育している一部の動物種においては、高齢化や近親交配が進み、今後の繁殖が困難と考えられる動物種も存在します。**持続可能かつアニマルウェルフェアに配慮した飼育体制を確保し、今後も動物園としての役割を果たすために、飼育動物種の継続計画「コレクションプラン」の考え方を整理**します。

コレクションプランは、教育的価値など動物公園の**将来像を踏まえた視点**、動物の特性や他の動物園の動向などを踏まえた**専門的な視点**、人気の動物種など**客観的な視点**から**総合的に判断**します。また、**飼育動物種数・個体数の動態を踏まえ、必要に応じて適宜見直し**ます。



※夢見ヶ崎動物公園再整備計画骨子に一部加筆

- SNSを活用したプロモーションによる愛着や物語性が**来園の動機づけとなるような動物種と効果的な見せ方のための施設整備や展示の工夫**



LIVE配信の取組
(鳥羽水族館)



SNS映えする工夫
(ユニークなフォトスポット/東山動植物園)



Xでの広報活動
(夢見)

8-3 生きものと人が会う

コレクションプランの考え方

現飼育個体については継続して飼育していくこととし、飼育環境の充実や、五感を活用した体験プログラムなどを可能とするため、飼育動物の繁殖・調整を進め、**将来的に計34種(+α)を継続して飼育する方針**とします（現飼育個体の令和17（2035）年度における自然減想定は約46種）。また、動物園としての魅力向上や来園者ニーズへの対応、JAZAコレクションプラン掲載種など、国内の園館で種の保存や飼育展示が求められる種は、**今後も新たな種の導入を継続的に検討**していきます。

	考え方	動物園としての役割・取組内容など	動物種の例
飼育を継続する種	<ul style="list-style-type: none"> 絶滅の恐れや生息地が減少している動物種の生息域外保全として、他の動物園と協力した保存計画の推進などにより種の保存・生物多様性の実現に貢献する種 	<ul style="list-style-type: none"> 種の保存への貢献その他これまでの実績などを勘案し、積極的に個体の導入・繁殖に取り組み飼育を継続する 状況に応じて個体の導入・繁殖を検討しながら飼育を継続する 	<p>シセンレッサーパンダ 幅広い世代に人気の動物環境教育等にも有効 EN JSMP</p> <p>フンボルトペンギン ペアでの子育て・群れでの行動等教育的効果 VU JSMP</p> <p>パラワンコクジャク JAZAにおける国内血統登録担当動物園として他園館と連携 VU JSB</p> <p>ホンドタヌキ 日本の里山管理への意識、野生動物との関わり方の学習への効果等</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 近くで観察し、学習し、動物の生態等への理解を深めることにより環境教育へ寄与する種 人気種等市民ニーズの高い種 	<p>情操教育、環境教育など</p> <p>川崎市環境教育・学習アクションプログラムなどへの貢献</p> <p>生物多様性かわさき戦略などへの貢献</p>	<p>【34種】</p> <p>【+α】</p> <p>アカオヒメシャクケイ 国内で飼育されているのが全てオスであり、メスの導入ができないため自然減とした</p> <p>クモザル 現個体は（亜種不明のため）繁殖・搬出不可であり獣舎スペース等の問題から調整とした</p>
新規に導入する種	<ul style="list-style-type: none"> 魅力増進に対応する種 		
現飼育個体をもって飼育を終了する種	<ul style="list-style-type: none"> 繁殖や新規導入が困難な種 他の希少種などとの飼育スペースなどの調整のため繁殖を行わない種 	<ul style="list-style-type: none"> 種の保存や個体の状況などを勘案し、他の飼育継続する種の飼育スペース確保のため繁殖させず終生飼養する 園内で繁殖ができず、国内の他園館からの導入も困難な種（血統が近い個体しかいない・個体数が少ないなど）は現個体の終生飼養後に飼育を終了する 飼育終了までアニマルウェルフェアに配慮し、健全な飼育・展示環境の維持向上に努める 外来種、特定外来種等は飼育種としての定着を想定しない 	
	<ul style="list-style-type: none"> 外来種、特定外来生物など飼育種としての定着を想定しない種 		

※コレクションプランは、社会情勢や飼育個体の保全状況などを踏まえ必要に応じて柔軟に見直します。

参考①：国際自然保護連盟（IUCN）による動物種のレッドリスト分類（絶滅の危険性）
高 ← CR EN VU NT LC → 低
深刻な危機 危機 危急 準絶滅危惧 低懸念

参考②：JAZAのコレクションプランで指定されている種（2024年1月5日時点）
JSMP JSB 維持
管理種 登録種 維持種

コレクションプラン

コレクションプランの考え方により夢見で飼育管理する種を①推進種②維持種③調整種④対象外の4つのカテゴリーに分類します。このコレクションプランに加えて、夢見の魅力増進に対応するための新たな種の導入については継続的に検討します。夢見の「いのちをまもる」取組の一つに、野生傷病鳥獣の保護活動があります。地域に住む野生動物を知り、人と野生動物との関わり方を改めて来園者に考えていただくために、飼育の継続が必要であると判断し、再整備計画骨子からの更新として、野生保護種であるホンドタヌキ、オオタカなどの一部を「対象外」から「推進種」「維持種」に変更しました。（コレクションプランは巻末参照）

8-3 生きものと人が出会う

展示施設の整備方針

動物舎

動物の飼育環境の改善、展示機能の充実、来園者と職員の安全確保などを考慮し、**より一層動物園としての役割を果たすための施設整備**を行います。

- ・ **アニマルウェルフェアや環境エンリッチメントを考慮した施設や、職員・動物の安全を考慮した施設**
- ・ **動物の逃走防止**を考慮した構造（二重扉など）
- ・ 来園者が**安心して観覧できる動線整備や広場**などの設置
- ・ **夏の暑熱対策**を考慮した飼育環境、観覧環境
- ・ 子どもの目線や車いすなどバリアフリーに配慮した、**誰もが見やすい展示施設**
- ・ (今後の課題として) 動物の**間接飼育を可能**とする設備構造

■ 配慮事項について

- ・ **JAZAの適正施設ガイドライン**等がとりまとめられている動物種については、これを参考にしながら**飼育環境、飼育面積などを設定し整備**します。
- ・ コレクションプランに基づき、**園内での繁殖を目指す動物種はそのための繁殖に必要な面積、部屋数などを確保**します。また、感染症や、傷病動物・高齢動物などの**隔離スペースの充実**も併せて検討します。
- ・ **工事に伴う騒音や移動が飼育動物に極力影響を及ぼさないような整備方法及び種や個体の状況に応じた施設配置**を検討します。
- ・ 動物の移動には細心の注意を払い、**生態や習性に配慮した移動方法や移動距離を考慮した施設配置計画**を立てます。

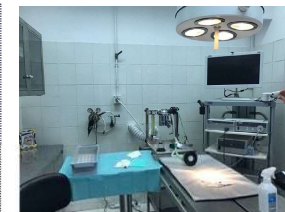
■ JAZA適正施設ガイドラインの一例

動物種	JAZAガイドライン記載の基準	
	飼育面積の基準など	その他
レッサーパンダ (1頭ないし2頭放飼の場合)	屋内：最低22㎡ (40㎡程度が望ましい) 屋外：最低22㎡ (40㎡程度が望ましい)	屋内：高さ3m程度 樹木、休憩台など 屋外：樹木や遊び木など
フンボルトペンギン	屋外：6羽までは1羽あたり1.2㎡ プール：6羽までは1羽あたり1.0㎡、水深0.5m	擬岩や木製の巣箱など

バックヤード・病院・保護施設

動物の安全はもとより、職員の働きやすさや安全を考慮した整備を行います。

- ・ 安全で効率的な管理動線の整備
- ・ 傷病動物や感染症への対応を適切に行うための動物隔離施設や保護施設の充実
- ・ 野生傷病鳥獣の受け入れや野生動物リハビリテーターの活動が充実し、来園者が一部観察可能なバックヤード整備
- ・ 大学など学術機関との連携をより一層深化するためのバックヤード整備



動物病院イメージ
(ドバイファルコンホスピタル)

防犯・防災・感染症対策などの危機管理に関する施設

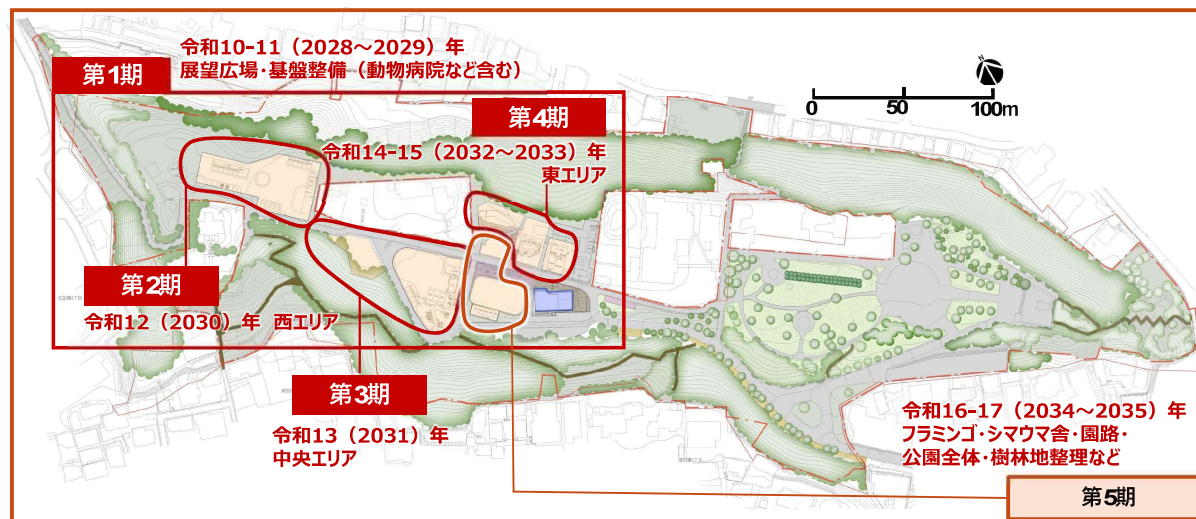
展示動物の**防犯対策、動物の健康危機管理、地震など自然災害に対する防災対策のために必要な施設（ハード）**を整備します。
また、それらの**運用（ソフト）**についても検討します。

項目	ハード	ソフト
防犯対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯カメラの設置 ・ ゲートの新設 ・ 配置により死角を作らないような工夫など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対策の強化 ・ 市民や民間事業者との連携など
動物の健康・危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥インフルエンザなど感染症対策を考慮した施設 ・ 隔離施設の充実 ・ 配置による工夫など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ マニュアルの整備など
防災対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ インフラのバックアップ（水・電気・太陽光発電や蓄電）、ガスなどは十分な予備を設ける ・ 飼料や備品の備蓄が可能な施設整備 ・ 耐震設計とし、災害時に来園者・職員・動物の受傷、動物の逸走を防止する構造 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園部分含む避難訓練の実施、地域との連携強化 ・ マニュアルの整備 ・ 飼料や備品の備蓄量の検討など

9.概算事業費と段階整備概要

再整備における公園全体の概算事業費

計画期間の概算事業費は、次のとおりです。※物価水準の変動などにより変更が生じる場合があります。
段階的整備を進める中で、工事で得られた知見等は次期工事に反映させるなど、より良い施設整備に努めます。



■全体概算事業費

項目	適用	金額 (億円)
獣舎	レッサーパンダ舎・ペンギン舎・サル舎・インコ舎・小動物舎等	28.2
バックヤード	動物病院・動物隔離施設・調理室等	6.9
広場と遊具	遊具・休憩施設・芝生・小公園整備等	3.0
利便施設	西側広場のトイレ	0.5
全体	園路・給排水や電気などのインフラ・埋蔵文化財調査・撤去費等	14.6
総額 (消費税込み)		53.2 億円

■段階整備概要・段階整備費

	整備年度	主要施設	金額 (億円)
設計期間	令和8 (2026) 令和9 (2027)	基本設計・詳細設計	0.8
	令和10 (2028)	(展望広場、基盤整備) 展望広場部整備 (デッキ・休憩施設・外周柵・トイレ等)、インフラ本管整備、仮設病院、パンシエ・マーモ舎撤去、舗装復旧等	4.0
第1期	令和11 (2029)	(基盤整備) 既存バックヤード施設撤去、キューピクル、受水槽、動物病院、動物保護施設・隔離施設、調理室等新設	7.0
	令和12 (2030)	(西エリア) キジ舎、ラム舎、ヤギ舎、ロバ舎、小獣舎、詰所、猛禽類・クジャク舎、インコ舎、周辺外構一式	7.2
第2期	令和13 (2031)	(中央エリア)サル舎、レムール舎、パンシエ・マーモ舎、カメ舎、小動物舎、シカ舎、周辺外構一式	8.4
	令和14 (2032)	(東エリア)マーコール舎、レッサーパンダ舎、ペンギン舎ポンプ室、ろ過器	5.7
第3期	令和15 (2033)	(東エリア)ペンギン舎	9.2
	令和16 (2034)	(その他) フラミンゴ及び周辺外構一式、シマウマ舎、動物園エリア主園路、動物園エリア照明灯一式	5.2
第4期	令和17 (2035)	(公園エリア) 幼児用大型遊具・児童用大型遊具、舗装広場改修、慰霊塔周辺舗装改修など、休憩施設・サービス施設等一式、北公園改修、東小広場改修、アプローチ・散策路改修、樹林地整理、サインなど	5.6

随時調整 駐車場 (民間パートナーとの協議、調整により整備検討、設計など)

基本的な考え方

川崎市では、「民間活用(川崎版PPP)推進方針(令和7(2025)年)」および「パークマネジメント推進方針(令和3(2021)年)」に基づき、**官民連携による適切な事業手法を検討し、適用する業務の性質や安全性、費用対効果などを十分に考慮した上で、民間活力の効果的な導入を検討**しています。

■ 民間事業者との連携の可能性

令和4年度及び令和6(2024)年度に行ったPPPプラットフォームの意見交換会では、施設整備に関しては「参入に効果的なスペースや動線を確保してほしい」、管理運営に関しては「自然や生き物を活かした教育プログラムの展開は可能」などの意見を頂いておりますが、**公園施設整備における民間活用事業への意欲のある事業者は確認できませんでした。**

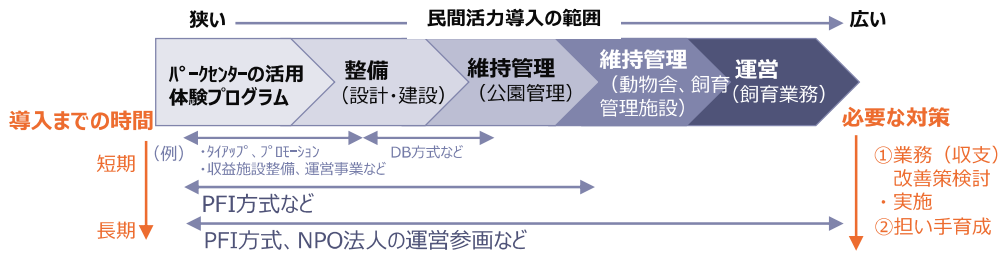
再整備の事業手法の検討結果

本事業は、飼育動物を移動させながら行う段階的な整備が必要となり、**一括発注の効果に限定的**で、動物舎や病院施設などは特殊な施設のため、**民間ノウハウの活用やコスト縮減が期待できず、工事期間短縮などがそれほど期待できないことがわかりました。**

また、飼育動物に配慮した整備が求められることなどから、**一体的・包括的な整備や維持管理が困難**です。一方、従来手法で実施した場合は、動物園業務を円滑に、的確に対応可能とする施設の設計ができ、**地域経済の活性化の観点から市内事業者の参画が見込まれます。**以上より、今後の夢見の整備は**設計・施工分離発注方式により実施することとしますが、再整備の進捗状況に応じて、事業者の参入意欲の確認などを実施**します。

■ 整備手法の検討結果

整備手法 評価項目		従来方式	民間活用手法		
			DB方式	DBO方式	PFI方式
定性評価	手法概要	市が設計と工事を発注(仕様発注)する設計と施工を分離	認仕化施工を一括発注 設計段階から施行者のノウハウを反映	設計・建設・運営まで実施	
	施設用途への対応	○	△	△	△
	スケジュール	○	○	○	○
	参画可能性	通常の工事発注の為、地元企業からの参画が見込める	×	×	×
	地域経済の活性化	○	△	△	△
	事務負担	×	△	○	○
定量評価	コスト	○	○	○	△
	評価	○	△ or ×	△ or ×	△ or ×



■ 施設整備が必要な範囲と規模

本事業は**動物公園全体が対象**である(約6.6ha(籠の公園や樹林地等含む))。

- ①電気・水道等のインフラ設備
- ②更新時期を迎える公園施設・動物舎・バックヤード施設
- ③アニマルウェルフェアへの対応が不十分な動物関連施設
- ④運営・利用にあたり支障や危険を伴う樹木の更新
- ⑤市民・民間との協働を可能とする拠点・休憩所等の新設
- ⑥安心・安全で快適な運営・利用のための施設整備(休憩施設の増設・動物のセカンドキャッチ(逸走防止措置など)、暑熱環境への対応・非常時のバックアップ等)
- ⑦防災、感染症などの危機管理対策の整備

持続的な運営手法の検討結果

夢見全体を一括した魅力発信を目指し、民間ヒアリングを行った結果、**立地条件・採算性・事業規模などの面から民間事業者の参画意欲が低く、現状では全体委託や指定管理等は困難である**ことから、運営については**分野ごとにヒアリングや検討を行い、運営手法の考え方を整理**しました。

■ PPPプラットフォーム意見交換会 (令和4(2022)年度、令和6(2024)年度に実施)

人員確保と技術の問題

- 動物の飼養管理には専門性が求められ、人材確保・育成コストが高い
- 特に希少種の取扱いには高度な知識・経験が必要

財政面の懸念

- 現状予算では人件費・光熱費・修繕費などをカバーできず、持続的運営が困難

動物とのふれあいプログラムの課題

- アニマルウェルフェアへのエビデンスの提示が必要
- 「ふれあい」には、配慮と説明責任が求められる
- いきなり指定管理者制度に移行すると事故・クレーム・混乱の恐れがある
- 「段階的な参入」が安全かつ望ましい

⇒「指定管理者制度での業務への即時参入は、**運営の効率性や来園者への影響、動物飼育及び健康管理面など、多方面でリスクがある**

■ 管理運営手法 (飼育業務)

JAZA加盟園として単なるレクリエーション施設ではないアニマルウェルフェア・教育・研究に高い責任を負う夢見においては、**市が主導し、全体方針をコントロールすることが重要**です。これを前提に、民間パートナーとの飼育業務の連携手法を「直営」「委託」「指定管理者制度」で比較検討し、**定性評価、定量評価の結果、飼育業務は行政が主導的に実施すること**とします。

■ 管理運営手法 (アクセス、駐車場)

夢見は高台に位置していることから、**徒歩での来園には一定の負担が伴うほか駐車場の狭さや、バス停からの距離など、アクセス面での課題**があります。これらの課題に対応するため、**園路のバリアフリー化を進め、駐輪場の拡充、周辺施設との連携による駐車場台数の確保**を検討します。また、公園までの**ルート案内を充実させるなどアクセス環境の向上に継続的に取り組み**ます。

また、駐車場に関しては、**民間事業者との詳細な対話の結果、周辺公共施設（日吉合同庁舎など）と連携のうえ、設置許可制度を活用し、駐車場の有料化を進める方針**とします。



夢見 駐車場

■ 管理運営手法 (プログラムの実施、広報、啓発業務)

多くの夢見の利用者に求められている、加瀬山を活用した体験プログラムや魅力がより伝わる新たな取組、包括的な歳入確保につながる企画、ネイチャーポジティブに資する活動の推進など、豊富なノウハウやアイデアを有する民間パートナーとの連携により、更に拡充します。



プログラムのイメージ
野生の動物のすみか探し
(東京都建設局HPより)

■ 包括的な歳入確保に向けた検討

- 「クラウドファンディング」「寄附の拡充」「ネーミングライツ」などの**付加的な官民連携の手法について、効果的に実施**します。
- 公園管理の協働として、飼料などの調達の連携、広報活動、パークセンター内での販売などの**協働の可能性を引き続き検討**します。
- 飼育業務関連のDX化など**新技術の活用について、適宜検討**し、アニマルウェルフェアの向上や、より効率的な管理運営を目指します。
- 有料体験プログラムの導入や駐車場の有料化等について、動物飼育などに還元できる、**持続可能な経営の視点を踏まえた仕組みを検討**します。



看板広告サポーター
(京都市動物園)



グッズの例
(足立区生物園HPより)

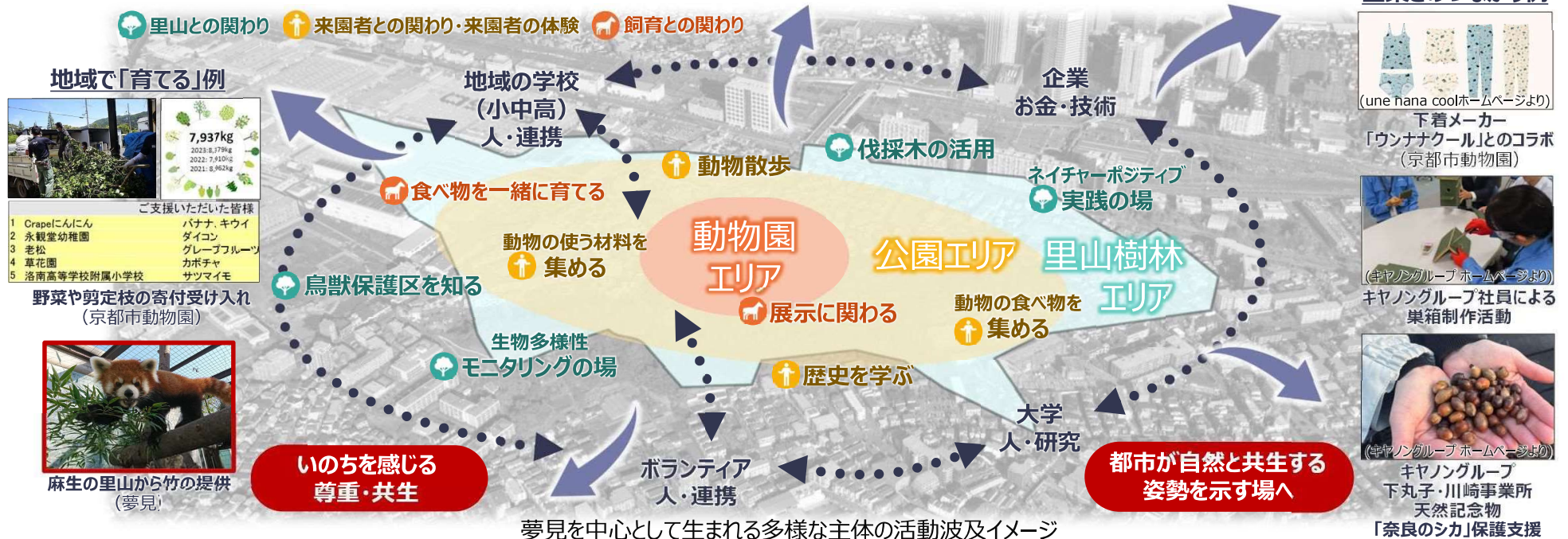
■ 民間事業者との連携範囲

夢見の民間事業者との連携は、以下に図示した範囲を中心にすすめ、**再整備の進捗に伴い、事業者の参入意欲の確認などを実施**します。



地域への波及イメージ

再整備で強化する「いのちを感じる」しかけが、夢見から地域を巡り、**多様な主体とそれぞれの資源・得意分野で育ち、良い効果が波及していくことを目指します。**
 再整備にあたっては、協賛や技術提供、実験的な取組を通じて、地域とのつながりを深め、広げながら**市民・企業・大学等と共に新しい夢見を育てていきます。**また、**環境や社会貢献のメッセージを発信する場として機能し、都市が自然と共生する姿勢を示す場として地域や来園者に新しい価値を提供します。**



企業とのつながり例

(une hana coolホームページより)
 下着メーカー「ウンナナクール」とのコラボ (京都市動物園)

(キヤノングループホームページより)
 キヤノングループ社員による巣箱制作活動

(キヤノングループホームページより)
 キヤノングループ 下丸子・川崎事業所 天然記念物「奈良のシカ」保護支援

地域とのつながり例 ※赤枠：既に夢見で取組が始まっています。



13. 事業スケジュール

再整備計画を令和8（2026）年度5月に策定し、整備に向けた基本設計などを進め、令和10（2028）年度から飼育動物を移動させながら、段階的に、改修整備を進めます。民間パートナーとの協働は、令和9（2027）年度からの実施を予定し、駐車場は近接する日吉合同庁舎駐車場・臨時駐車場と連携した、効率的・効果的な資産の有効活用を行います。

なお、動物の飼育状況によっては施設配置の計画を適宜見直すものとし、スケジュールについても今後、詳細設計や施工計画などにより変更が生じる場合があります。

■事業スケジュール

年度 項目	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)	令和9 (2027)	令和10 (2028)	令和11 (2029)	令和12 (2030)	令和13 (2031)	令和14 (2032)	令和15 (2033)	令和16 (2034)	令和17 (2035)	
計画策定 ／協働・連携	再整備計画 骨子	市民意見の 募集	民間パートナーとの協働 導入準備	民間パートナーとの協働 駐車場や体験プログラムなど 民間パートナーとの協働									継続
			再整備計画 策定	生物多様性を発信する場としての展開 導入準備									継続
				生物多様性に関する取組（自然資源の現況調査、企業・市民が参加できる枠組みを整備・発信、企業や大学と連携した研究・教育の場、モニタリングの実施等）									継続
施設整備	パークセンター、園路等 先行整備		基本設計	詳細設計	第1期工事	詳細設計	第2期工事	詳細設計	第3期工事	埋蔵文化財 調査	第4期工事	埋蔵文化財 調査	
					埋蔵文化財 調査		埋蔵文化財 調査		埋蔵文化財 調査		第4期工事 詳細設計	第5期工事	
関連 スケジュール	秋 春												
動物種数 (自然減想定)	51種	（R7.12月末時点）										約46種	